

平成26年度下半期 財政状況

基本計画の実現をめざして、リーディングプロジェクトを積極的に推進

平成26年度下半期は、景気が緩やかに回復する中、東京スカイツリー®に関連して取り組んでいる観光・産業等の施策の効果もあり、区の人口は増加傾向が続いています。これにより、特別区民税をはじめとする歳入の一部が前年度に比べて増加し、区財政は、収入面において徐々に改善の兆しが見られます。

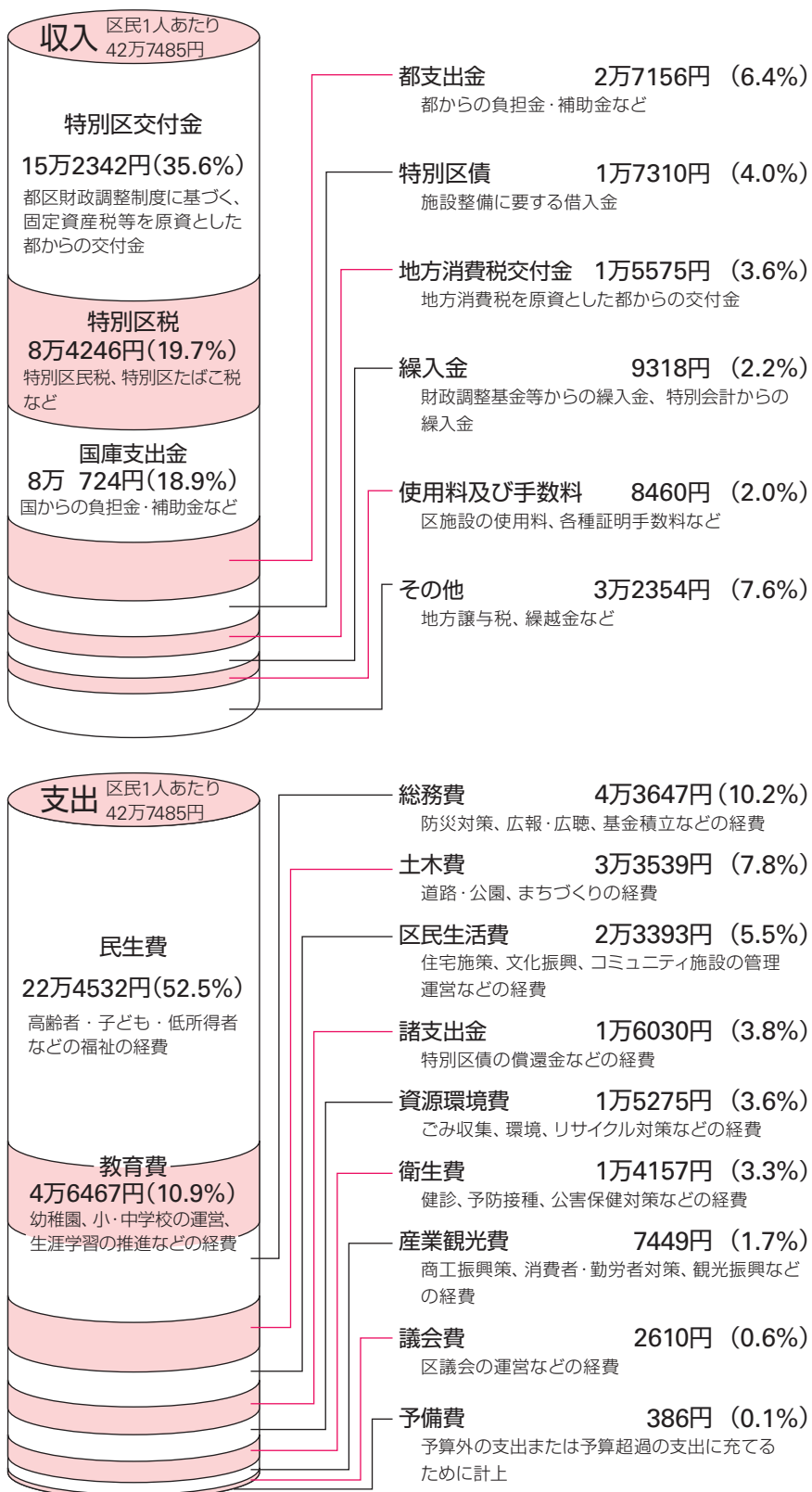
こうした中で、「東日本大震災を

教訓に、安全で安心して暮らせるまちづくり」をはじめとする3つのリーディングプロジェクトの実現に向けた施策に、積極的に取り組みました。

また、予防接種費の追加や衆議院議員選挙及び最高裁判所裁判官国民審査執行費などに補正予算で対応したうえで、予算に計上した事務事業を計画的・効率的に執行することができました。

26年度 区民1人あたりの予算額(一般会計)

1人あたり 42万7485円
 一般会計予算額 1108億3148万円 27年4月1日現在の人口 25万9264人



①収入・支出ともに()内の数字は、一般会計予算額に占める比率です。
 ②一般会計予算額のうち、人件費は189億7344万円(区民1人あたり7万3182円)です。

予算の状況

【一般会計】26年10月1日以降、下表の補正を行った結果、最終予算額は1108億3148万円となりました。

【特別会計】当初予算に必要な補正を行うことにより、最終予算額は、国民健康保険特別会計が302億2191万円、介護保険特別会計が193億7595万円、後期高齢者医療特別会計が50億8192万円となりました。

26年度一般会計の主な補正予算

11月・12月補正…16億4383万円の追加	3月補正…6億6286万円の追加
▶ 衆議院議員選挙及び最高裁判所裁判官国民審査執行費	▶ 職員退職手当追加
▶ 東京大空襲70周年記念事業費	▶ 財政調整基金積立金追加
▶ 電子計算組織の管理運営費追加	▶ 減債基金積立金追加
▶ 財政調整基金積立金追加	▶ 公共施設整備基金積立金追加
▶ 私立幼稚園施設整備資金貸付事業費追加	▶ 水と緑のまちづくり基金積立金追加
▶ すみだ北斎美術館開設準備経費追加	▶ 協治(ガバナンス)まちづくり推進基金事業費追加
▶ 予防接種費追加	▶ すみだ北斎美術館開設準備経費追加
▶ 区内循環バス運行等経費追加	▶ 図書館管理運営費追加
▶ 道路景観整備事業費の減額	▶ 各種事務事業の不用経費の減額
▶ いじめ・不登校防止対策経費追加	▶ 総合戦略策定経費
▶ 過年度国庫支出金等返還金追加	▶ 子育て応援商品券交付事業費
▶ 給与と規定に伴う人件費の増額等	▶ 区内共通プレミアム商品券発行事業費
	▶ (仮称) すみだまるごとバル実施経費等

収入・支出の概況

27年3月31日現在の26年度各会計の予算現額と収支の状況は、下表のとおりです。一般会計の予算現額に対する執行率は、歳入が90.9%、歳出が83.5%となっています。

なお、事務処理手続等の関係で3月末日までに執行できなかったものについては、出納整理期間中(4月1日～5月31日)に執行しました。

26年度予算の収支の状況(27年3月31日現在)

区分	予算現額	収入額	支出額
一般会計	1115億9798万円	1013億9553万円(90.9%)	932億2708万円(83.5%)
国民健康保険特別会計	302億2191万円	269億8229万円(89.3%)	266億2064万円(88.1%)
介護保険特別会計	193億7595万円	179億6044万円(92.7%)	165億5071万円(85.4%)
後期高齢者医療特別会計	50億8192万円	49億8901万円(98.2%)	47億6072万円(93.7%)

①予算現額とは、最終予算額に25年度からの繰越分を加えたものです。25年度からの繰越額は、一般会計で7億6650万円ありました。
 ②収入額・支出額欄の()内の数字は、それぞれ予算現額に対する割合です。
 ③各会計の収入・支出ともに出納整理期間中(4月1日～5月31日)に執行・整理を行い、いずれも予算計上額をほぼ達成しています。

区民負担の概況

区の施策を実施するために必要な財源として、区民の皆さんに税や各種使用料・手数料を負担していただいています。このうち、特別区税の予算現額と収入額は、下表のとおりです。

26年度特別区税の予算現額と収入額(27年3月31日現在)

内訳	予算現額	収入額	収入率
特別区民税	193億2600万円	170億1221万円	88.0%
軽自動車税	7800万円	7846万円	100.6%
特別区たばこ税	24億2300万円	23億8850万円	98.6%
入湯税	1500万円	1355万円	90.3%
合計	218億4200万円	194億9272万円	89.2%

④上記の収入額に加え、出納整理期間(4月1日～5月31日)中にも収入がありました。

の公表

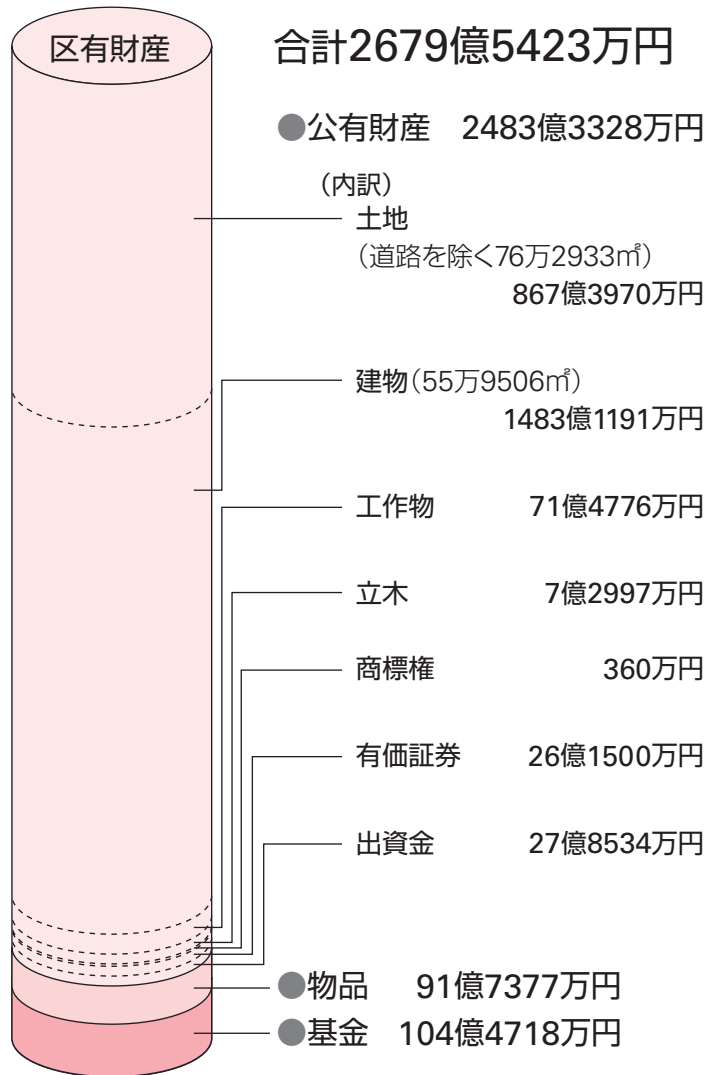
区では、区民の皆さんが納めた税金等がどのように役立てられているのかをお知らせするために、区の予算と収入・支出の状況を年2回公表しています。今回は、平成26年度下半期の財政状況をお知らせします。

[問合せ] 財政担当 ☎5608 - 6232

*各数値は、四捨五入により合計額が合わない場合があります。

区有財産の現在高

27年3月31日現在の区有財産の現在高は、下のグラフのとおりです。



一時借入金

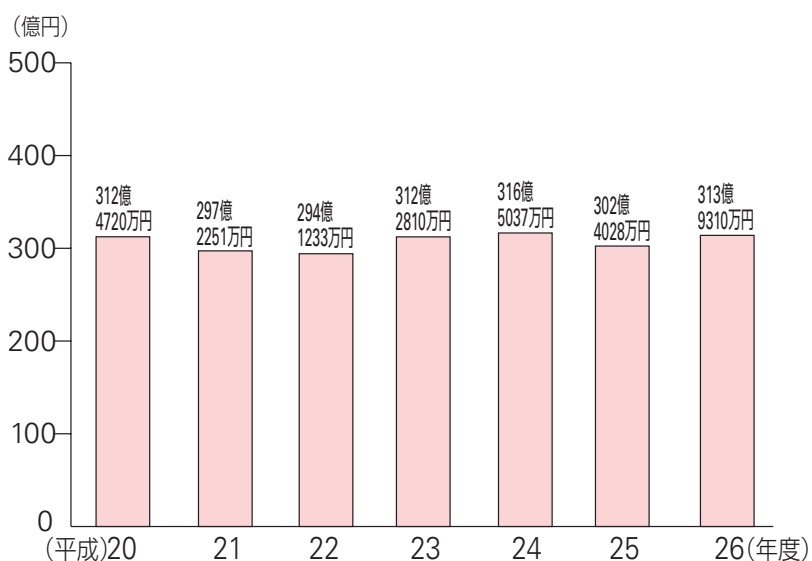
一時借入金とは、収入と支出の時期の違いにより、事務事業を執行するうえで一時的に資金が不足する場合に、年度内償還を条件として市中銀行などから借り入れる資金のことです。

26年度は、この借入れを行う必要がありませんでした。

公債の発行残高

学校施設の整備や、まちづくり事業などの公共施設の整備には、多額の経費がかかります。このため、公債（特別区債）を発行しその財源を確保するとともに、公債の償還を通じて現在から将来にわたる区民の皆さんの世代間の負担の公平化を図っています。

各年度末における公債の残高は、下のグラフのとおりです。



区政の課題解決に果敢に取り組む予算

27年度予算は、基本計画の最終年度として、3つのリーディング・プロジェクトを中心に計画目標の達成に努めるとともに、新たなステージへの架け橋となるよう、子ども・子育て支援新制度など重要な制度改革に伴う新たな課題についても的確に対応する内容になっています。

我が国の経済は、雇用・所得環境

の改善傾向が続く中で、各種政策の効果などもあり、緩やかな回復が期待されています。

このような中、区の財政状況は、改善の兆しが見られるものの、最大の収入源である特別区交付金の減収が見込まれるなど、先行き不透明な状況にあります。このため、引き続き行財政改革に取り組みつつ、区政の課題解決をめざしてまいりますので、ご理解とご協力をお願いします。

